



No.038 九州デジタルガバメント構想(その9) 九州政府の出来上がりの姿



九州デジタルガバメントはそれ自身、リーンスタートアップのようなものです。

最初、市町村単位で小さく住民向けデジタルサービスを始めます。サービスの種類を増やしながら横展開して複数の自治体の住民をつなぎ、データを活用した公共サービスのデファクトスタンダードを目指します。そのソフト面のインフラとなるのが、個人情報保護条例、データポータビリティ等データ取り扱いに関する九州統一ルールです。こうして九州DGが形成されていきます。

やがて本格的なデジタル社会の到来とともに、フィジカル空間の行政がサイバー空間のデジタルサービスに置き換えられていく、これが最終段階です。このときは社会全体のデジタルトランسفォーメーションが起きているでしょう。未来社会のイメージ、たとえば……

九州DGが受け取るサービス使用料や納税はすべて電子通貨(暗号資産)YENで行われます。九州DGは円ペッグのステーブルコインYENの発行当局として価値安定に責任を持ちます。一種通貨高権を持つ独立ミニ国家的地位です。これによってサイバー空間だけでなくあらゆる経済活動が暗号資産に置き換えられ、九州は実質的にYEN経済圏として回り始めます……